

大連

モデルコース

日	都市名	旅程概要	食事/宿泊		
			朝	昼	夕
1	関西 大連	大阪より空路、大連へ 着後、大連市内観光へ (大連港、中山広場、老虎灘、北大橋 など)	×	×	○
			宿泊地 大連		
2	旅順	ホテルにて朝食後、 旅順日帰り観光へ (203高地、東鶏冠山、水師営会見所 など)	○	○	○
			宿泊地 大連		
3	大連 関西	ホテルにて朝食後、 ホテルより空港へ 大連より空路、大阪へ 着後、解散	○	×	×
			宿泊地 大連		

関西空港⇄大連(周水子空港)
就航航空会社

- ・全日空(NH)
毎日運航・1日1便
- ・中国国際航空(CA)
週3便運航(月・水・土)
- ・中国南方航空(CZ)
週5便運航(月・木以外)

2010年12月現在

みどころ

・中山広場

大連市の中心に位置する中山広場は1899年に建てられ、最初はロシア人サハロフがパリをモデルにして設計しました。またロシア二世の皇帝の名前で、ニコライフスカヤ広場としました。まわりの建物は、ほとんど日露戦争後に日本資本によって建てられたもので日露戦争後に大広場と呼ばれました。中華人民共和国成立後、孫中山先生を記念するため、大広場を中山広場と命名しました。



・北大橋

1987年に姉妹都市の大連と北九州市が友好関係締結5周年を記念するため造った長さ230mの巨大アーチ橋です。海がきれいに見える名所で、いつ頃からか分かりませんが、新婚がこの橋を歩いて渡ると永遠に幸せになれる、という伝説が生まれ、結婚式当日も、新郎新婦は必ず手を取って、橋を渡して、写真を撮ったりします。それで、この橋は"love bridge"とも呼ばれております。



・老虎灘

老虎灘(ラオファータン)は大連中心街から南東に位置しています。近代的な観光地として道路や各種設備の整備が進み、大連周辺のリゾート地のひとつとして国内外から訪れる観光客が跡を絶ちません。老虎灘広場の総面積は15,700万平方メートル、シンボルとしての群虎彫刻は1991年に作りあげたものです。群虎彫刻は全長35.5メートル、高さ6.5メートル、500個以上の花崗岩を用いて、総重量は2,000トンあまりです。



・203高地

203高地は日露戦争で一番の激戦地で、もともとの名は猿石山。海拔206m、軍事地図の中で203番なので、「203高地」と呼ばれています、一説では、戦争前の海拔は206mで、戦争により3mが削られ高さが203mになったので、そこから203高地と命名されたともいわれています。203高地はロシア軍後方防衛線の西側の最高陣地で、山頂から旅順港の全体が見えます。

